



天文資料

2019年 8月号

令和元年度 第5号 (8月号)

令和元年 7月26日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



<天の川をはさんで輝く木星・土星が見ごろ>

今年の梅雨は、雨が大量に降った地域とそうでない地域が極端だった印象があります。長崎県の梅雨明けも例年よりやや遅れましたが、8月は晴れの声をたくさん聞きたいものです。

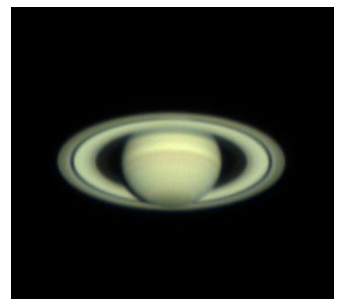
夏休みは、天の川をじっくり観察できる時期です。天の川は、南の低い位置にあるさそり座の尾の部分から、いて座、わし座、はくちょう座とたどっていくとわかりやすいです。この雲のように見える一つひとつが太陽と同じ恒星の光であると考え、宇宙の圧倒的なスケールを感じることができるでしょう。

その天の川をはさむように、木星(-2.4等)と土星(0.2等)の二大惑星が輝いています。本科学館の夏休みの天体観望会でも一番人気になること間違いなしの天体ですので、このような機会をとらえてぜひ足を運んでいただきたいと思えます。(詳しくは少年科学館HPまで)



木星(左)は太陽系で一番大きな惑星で、直径が地球の11倍ほどあります。ガリレオ衛星と呼ばれる明るい4つの衛星(月)を見ることができます。

土星(右)は木星に次ぐ大きさの惑星で、本星の直径は地球の9倍ほどあります。土星には大きな環があり、今、とても見やすくなっています。



<はやぶさ2が2度目の着陸に成功！>

7月11日午前10時06分(日本時間)、小惑星リュウグウを周回している探査機はやぶさ2が2度目の着陸に挑み、成功しました。最初の着陸が2月22日午前7時29分で、その時は小惑星表面の岩石を採取、その後4月5日に金属弾を打ち込み人工クレーターを作り、今回はその中(または近隣)に着陸して小惑星内部の岩石を採取しました。はやぶさ2の主なミッションはこれで終了、年末頃にリュウグウを離れ、1年間の旅の後、2020年末頃に地球に戻ってくる予定です。最後に地球の大気圏突入という難関が待ち受けていますが、ぜひ成功して持ち帰った成果を見せてほしいですね。



舞い上がるリュウグウの岩石